

時を超えて
人を惹きつける
魅力は何か？

「四国遍路」を知る決定版の1冊がついに登場！

四国遍路の世界

愛媛大学四国遍路・
世界の巡礼研究センター編

近年ブームとなっている四国遍路。四国八十八ヶ所の成立、遍路日記などの記録、古代から現在に至る歴史の変遷、古典文学での描かれ方、外国人遍路を含めた現在の人気、世界各地の巡礼との比較など、さまざまな視点から読みとく15講。四国遍路はなぜ時を超えて人々を魅了してきたのか？最新の研究をまとめた入門書がついに刊行！



宇佐八幡神社の四国遍路絵馬(部分、今村賢司撮影)

目次

- 第1講 四国八十八ヶ所の成立 川岡 勉
- 第2講 四国遍路と古典文学 西 耕生
- 第3講 江戸時代の遍路日記に見る四国 胡 光
- 第4講 江戸時代の遍路統制 井上 淳
- 第5講 道標石から見た四国遍路 今村賢司
- 第6講 四国遍路と女人禁制 森 正康
- 第7講 四国遍路と明治維新 中川未来
- 第8講 弘法大師空海と四国遍路開創伝承 大本敬久
- 第9講 納経帳・般若心経・白衣 寺内 浩
- 第10講 俳句・文学から見る近現代の四国遍路 青木亮人
- 第11講 四国遍路と外国人 モートン常慈
- 第12講 現代における四国遍路の諸様相 竹川郁雄
- 第13講 アジアの巡礼 高橋弘臣
- 第14講 イスラームの巡礼 安田 慎
- 第15講 ヨーロッパの巡礼 山川廣司



四国遍路の世界
定価:880円+税 ISBN:978-4-480-07309-9
刊行日:2020年4月8日/頁数:288頁/判型:新書版

編者プロフィール

愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター
2015年4月に「愛媛大学法文学部附属四国遍路・世界の巡礼研究センター」として発足、2019年4月に現在の名称になる。四国遍路の歴史と現代の実態を学際的に解明するとともに、世界各地の巡礼との国際比較研究を行っており、研究紀要や調査報告書等を毎年刊行している。

※ご注文・お問合せはお近くの書店様、または下記・筑摩書房営業部まで



筑摩書房

〒111-8755 東京都台東区蔵前2-5-3 営業部 TEL.03-5687-2680 FAX.03-5687-2685
<http://www.chikumashobo.co.jp/>